



市議会だより さつて

権現堂公園幸手桜堤において第85回幸手桜まつりが開催されました。
長さ約1 kmにわたる満開の桜堤が、訪れた多くの方々を魅了しました。

3月定例会のおもなことから

- ・平成27年度当初予算を可決2~4ページ
- ・各常任委員会での審議5~7ページ
- ・市政に対する一般質問8~14ページ
- ・議決結果の一覧、編集後記15~16ページ

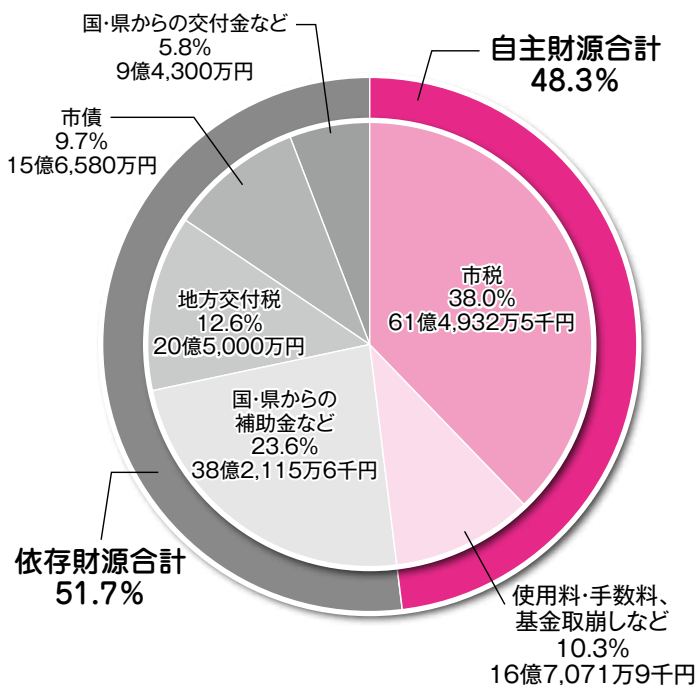
No.74
2015年
5月

平成27年度予算を可決

一般会計 **162億円** (前年度比 3.8%増)

予算額構成比

歳入



市税は前年度比1.2%減の61億4,932万5千円
地方交付税は20億5千万円で0.5%の減

平成27年3月定例会は、2月23日から3月20日までの会期で開かれました。市長から新年度の施政方針が述べられ、平成27年度一般会計予算、新たに幸手駅西口土地区画整理事業の特別会計を加えた8件、補正予算、条例改正、人事案件など含む34議案が提出されました。また、会期中の追加議案1件を合わせ、全議案とも可決・同意しました。

市税の前年度比較

(単位:千円・%)

区分	平成27年度 予算額	平成26年度 予算額	増減比
市民税	2,940,237	2,960,715	△0.7
(1)個人	2,593,774	2,612,890	△0.7
(2)法人	346,463	347,825	△0.4
固定資産税	2,463,124	2,501,283	△1.5
軽自動車税	90,800	82,146	10.5
市たばこ税	383,205	408,859	△6.3
都市計画税	271,959	273,916	△0.7
合計	6,149,325	6,226,919	△1.2

市民税は

前年度比

マイナス

歳入 自主財源である市税のうち、個人市民税は、景気回復の期調は見られず、前年度比0.7%の減。固定資産税は評価替えの年であり1.5%減、たばこ税も6.3%の減。軽自動車税のみ前年度比10.5%増の90,800万円となっています。市税全体では1.2%の減額計上となっています。

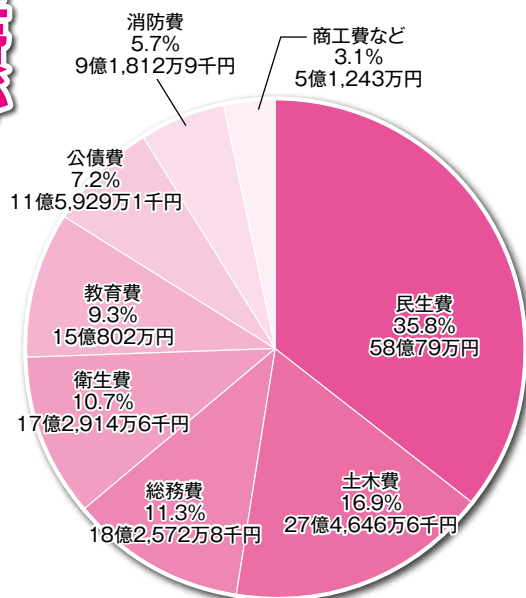
平成27年度特別会計

(水道事業を除く)

会 計 名	予 算 額
国民健康保険特別会計	81億 331万3千円
後期高齢者医療特別会計	4億8,164万1千円
介護保険特別会計	34億4,319万5千円
農業集落排水事業特別会計	2,892万9千円
公共下水道事業特別会計	12億3,653万4千円
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	3億1,227万円
合 計	136億 588万2千円

依存財源では地方交付税が前年度に比べ0.5%、額にして1千万円の減。地方消費税交付金は前年度より19・5%増の6億3千万円。うち、社会保障財源分として、2億5940万円を計上しています。土木費国庫補助金では、道路橋りょう費補助金8200万5千円。圏央道関連で5億9950万円。駅舎・自由通路関係分として1261万7千円が計上されています。

予算額構成比 歳出



**民生費が
予算構成比の35・8%占める**

歳出 歳出全体の35・8%を占める民生費は、前年度比0.9%、額にして5405万9千円増の58億79万円となっています。今年度から障がい福祉関係費が別立てとなり、障がい福祉支援費11億4375万5千円が計上されました。

繰出金は介護保険特別会計に、5億486万8千円、後期高齢者医療特別会計に1億1167万1千円、国民健康保険特別会計には2億3150万5千円をそれぞれ計上しています。

子育て支援では、さくら小・権現堂川小への放課後児童クラブ室新設工事に6千万円。吉田小・八代小のクラブ室新設設計業務委託料や、第2保育所建設工事実施設計業務委託料が計上されています。

衛生費では、住宅用太陽光発電システム設置費補助金300万円を計上。

土木費では、橋りょう新設改良費として、古川橋架替工事に1億3565万円。また、新たに設けられた幸手駅西口土地区画整理事業特別会計への繰出金1億4806万9千円が計上され、事業が進められます。さらに駅橋上化および自由通路整備工事負担金1億4094万2千円を計上、今夏には仮駅舎工事が施工されます。

教育費では、幸手市立図書館および新たに開設された香日向分館をあわせて指定管理を行います。両図書館の指定管理料として859万8千円が計上されています。

賛成討論

小河原 浩和議員

扶助費を始めとする市民生活に直結する事業や、重点プロジェクトの推進。子育て応援事業として、放課後児童クラブ室の設置事業や活動助成事業補助金の新設、交通弱者へのデマンド交通の導入など、ハード面やソフト面にバランスのとれた予算編成を高く評価する。

小林 順一議員

幸手市の将来に希望を持ち、さらなる前進を目指すため、先行投資的な事業実施は必要である。市民の期待する幸手駅西口土地区画整理事業、橋上駅舎、東西自由通路の建設、利用者の利便性を重視したデマンド交通の導入などの予算に公明党は賛成する。

大久保 忠三議員

駅の橋上化、自由通路の建設、幸手駅西口土地区画整理事業が一体となったことを評価する。また、放課後児童クラブでは、さくら小、権現堂川小の新設工事。耐震面で心配であった第2保育所の建設工事実施設計業務委託が計上された。

幸手市特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条
例の一部を改正する条例を可決

現行の100世帯単位で分類している均等割を50世帯単位に細分化し、併せて世帯割を廃止することにより、区長報酬の所掌世帯数に伴う格差を縮小させるため、区長報酬を改正することになりました。

区長年額報酬	
50世帯まで	20,000円
100世帯まで	30,000円
150世帯まで	40,000円
200世帯まで	50,000円
250世帯まで	60,000円
300世帯まで	70,000円
350世帯まで	80,000円
400世帯まで	90,000円
401世帯以上	100,000円



幸手市介護保険条例の一部
を改正する条例を可決

介護給付費の増加に伴い保険料負担も増大している中で、より安定的な介護保険制度の運営のためには、これまで以上に、それぞれの被保険者の方の負担能力に応じて保険料を納付していただく必要があります。

幸手市では第6期介護保険事業計画（平成27年度から平成29年度までの3年間）において所得段階別の加入者割合等を考慮し、国の示す標準9段階とした所得段階区分に改正します。

なお、基準額となる所得段階第5段階は5万6400円で、その他の所得段階の保険料率は合計所得金額などにより、それぞれ基準額に対する割合が定められます。

改正後の規定は、平成27年度以降の年度分の保険料から適用し、平成26年度以前の年度分の保険料については、従前の例によります。

また、新たに地域支援事業に位置づけられた介護予防・日常生活支援総合事業について、平成29年度から行うものとするものです。

意見書案第1号
「ヘイトスピーチ対策に係る法整備」を求める意見書案を可決

国連人種差別撤廃委員会は平成26年8月29日、日本政府に対していわゆるヘイトスピーチ問題に「毅然と対処」し、法律で規制するよう勧告する最終見解を公表した。

最終見解では、ヘイトスピーチを規制するための措置が、抗議する権利を奪う口実になってはならないことを前提とし、「社会的弱者がヘイトスピーチから身を守る権利」を再認識するよう指摘した。そして、憎悪および人種差別的表明やデモ・集会における差別的暴力に断固として対処することや、メディアにおけるヘイトスピーチと闘うため適切な手段をとること、そうした行為について責任のある個人・団体を捜査・起訴したり、ヘイトスピーチをする政治家・公人に制裁措置をとることなどを、政府に勧告している。

我が国は、国民に自由と権利を保障するとともに、基本的人権を尊重し、法の支配を尊ぶ民主主義国家である。

よって、国においては、国連人種差別撤廃委員会の勧告を誠実に

受け、ヘイトスピーチ対策に係る法整備を速やかに行い、適切な措置が図れるよう、強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

幸手市議会として衆参両院議長等に送ることを「賛成全員」で可決しました。



人事案件

教育長

山西 実氏

を任命することに同意しました。

公平委員会委員

倉繁 健一氏

山口 寿通氏

河村 成子氏

の選任に同意しました。

総務常任委員会

幸手市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 (議案第1号)

問 現給保障となる該当者数と影響額はいくらか。

答 予算措置上では、約150人程度と考えている。給料は、平均2・16%減、特に高齢層については4%程度の引き下げとなるが、地域手当が上がり、現給保障されるため、手当てを含んだ予算総額は、423万8千円の増額となる。

平成26年度幸手市一般会計補正予算 (第7号) (議案第17号)

問 繰越明許費359万9千円の内容について伺う。

答 駅舎の建築確認に係る事業の手続きが済まなかったため、繰越明許の設定をした。

問 駅橋上化整備事業と自由通路整備事業を一つの事業として債務負担行為28億4500万円を計上した理由について。

答 事業の内訳としては分割しているが、社会資本整備総合交付金の関係などから自由通路については街路事業で、橋上駅舎については自由通路の補償事業として一体事業の計画としているためこのように行った。

問 協定書としては2本に分かれているのにおかしくないか。

答 協定書については、直近の事業および過去の判例を参考に、自由通路については請負に該当するため議決の必要があり、橋上駅舎については鉄道事業者の所有になることから寄附に該当するため議決の必要がないということから協定書は2本になっているが、一体的に捉えているために、5年間の債務負担行為とした。

問 自由通路事業費が当初の7億8千万円から16億円まで増えた理

由について。

答 平成23年3月の駅西口土地区画整理事業の事業認可取得の時点では旧3番線に自由通路をおろす計画であったが、現在の計画は、西口駅前広場に直接自由通路をおろすことにより延長が長くなったことや幅員が広がったこと、現在の計画以前は概算により算出していたこと、仮駅舎の費用や跨線橋の撤去費用等が自由通路の補償事業対象になることとなったことが主な理由である。

問 事業費のうち、国庫支出金はいくらか。

答 28億4500万円のうち、23億8441万6千円が補助対象工事となり、それに対する55%が補助対象金額となる。

問 西口地区土地区画整理事業と駅橋上化および自由通路整備事業とで、5年間で53億円近い事業となる。市債が160億円を超える年が何年も続くことが予想されるが市の財政は大丈夫か。

答 今後、大規模な事業を進めていくことにより、当然ながら市債

残高、公債費負担が大きくなると考えている。各年度の財政状況を見ながら、きちんと事業の進展を管理していく。

平成27年度幸手市一般会計予算 (議案第21号)

問 市税のうち、固定資産税が、3800万円ほどの減となっているが、評価替えによる減がどのくらいあるのか。

答 現年課税分は3178万8千円の減で計上している。その中で評価替えに伴うのは、土地については、住宅地で0.4%下落、商業地で0.4%下落、工業地区では平均で5.6%上昇し、土地に関しては約565万8千円の増である。家屋については、新増築分と合わせて2711万2千円の減である。その他として、償却資産の動向では、企業の法人税等の額は上昇しているが、設備投資はしていない状況のため減額で計上している。

問 工業地区について5.6%以上のアップは見込めないか。

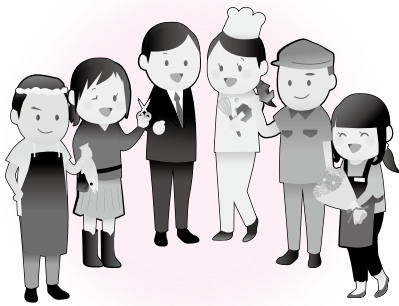
答 不動産鑑定士による鑑定額なので、変更はできない。

文教厚生常任委員会

幸手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
(議案第4号)

問 従来の区長報酬では、どのような不具合があって、今回の改正に至ったのか。

答 市民協働という視点から、新たな連携を図るため、区長報酬について、今まで100世帯ごとの均等割の部分を50世帯ごとに細分化し、また、50世帯ごとに、報酬を1万円ずつ増額させ、分かりやすい形に変更した。



幸手市介護保険条例の一部を改正する条例
(議案第5号)

問 これまでの保険料の基準額の算定方法との違いは。

答 第5期と第6期の保険料の算定については、3年間の給付見込みから算出しており、基本的に変わらない。

幸手市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例
(議案第8号)

問 高齢者の人口が減少した場合による地域包括支援センターの人員は。

答 高齢者の人数が減っても、今後、地域包括支援センターの役割は大きくなっていくので、人員が減少することはない。

保育の実施に関する条例を廃止する条例
(議案第10号)

問 児童福祉法の改正に伴う影響は。

答 児童福祉法で保育の実施基準を条例委任していた規定が廃止されたことにより、条例を廃止するが、保育の実施基準の内容は変わらない。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例
(議案第12号)

問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定する総合教育会議は設置義務化か。

答 法律により4月1日以降に設置することになる。この会議の詳細な運営については、現在、策定中の要綱で定めることとしているが、毎年1回から2回は開催していると考えている。

平成27年度幸手市一般会計予算
(議案第21号)

問 協働事業推進協力報償金の各行政区における使い方は。

答 市および関係機関の発行物の配布、事業等への参加促進、地域の課題解決のための市との協働などに対するもので、配布物の配布などに携わった方への謝礼ということを前提に、報償金の使い方の指針を示したい。

問 住宅用太陽光発電システム設置費補助金の補助内容は。

答 1キロワット当たり2万円で上限として4キロワットで8万円を補助するもの。

問 (仮称)資料館の施設改修工事の内容は。

答 旧看護学校の校舎を資料館として新たに整備する計画で、一般の方の利用に供するため、エレベータの設置などのバリアフリー化や、トイレの改修等を見込んでいる。

建設経済常任委員会

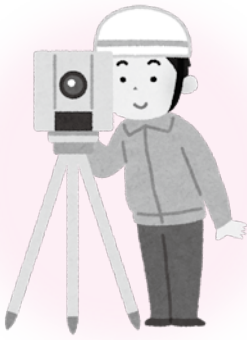
幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計設置条例 (議案第14号)

問 土地区画整理事業の施行地区の中で、中5丁目の一部分とはどこにあたるのか。

答 旧3番線跡地にあたる鉄道用地付近の一部に、中5丁目が含まれている。

問 保留地処分金の見込額はいくらか。

答 保留地全体の額は、4億3626万9千円である。



東武日光線幸手駅自由通路整備工事の施行に関する基本協定の締結 (議案第34号)

問 自由通路と橋上駅舎建設を着工することになった経緯は。

答 約4年前の平成23年3月に幸手駅西口土地区画整理事業の事業認可を取得した。市としても4年経過しており、西口広場の整備を最優先に行い、それに併せて同時に自由通路の整備を行うことが、必要不可欠であると考えている。

更に、自由通路と橋上駅舎はセツトと捉え、西口土地区画整理事業の始まりに合わせたこの時期が着工のタイミングと考えている。

平成26年度幸手市一般会計補正予算 (第7号) (議案第17号)

問 商店街街路灯LED化推進事業補助金の減額理由について。

答 当初は1基当たり約6万7千円で見積もったところ、入札の結果、1基当たり約4万円程単価が下がったことから補助金の減額をするもの。

問 人道橋等実施設計業務委託料の減額理由について。

答 人道橋については、今後整備される親水公園と西口側を結ぶ倉松川にかけられる橋の実施設計となるが、埼玉県において平成27年度に倉松川整備の詳細設計を行なうことから、その結果を待って行なったほうが手戻りがなくなるため、減額をするもの。

平成27年度幸手市一般会計予算 (議案第21号)

問 多面的機能支援事業補助金の積算根拠について。

答 この補助金は農業・農村の多面的機能を支える共同活動をする団体に交付するものです。農地の面積と行なう活動の種類により異なるが、田の地目で30ヘクタール分に、単価の高い活動を行なった場合を想定し積算した。

平成27年度幸手市公共下水道事業特別会計予算 (議案第26号)

問 下水道維持管理費の修繕工事の内容は。

答 主なものとして、中継ポンプ場内のデーターロガー装置(流量等記録計)の更新工事やその他電気工事、破碎機の交換工事を行なうもの。

平成27年度幸手市水道事業会計予算 (議案第28号)

問 新会計制度対応アドバイザリー業務委託料を今年度も計上した理由は。

答 この新会計制度は平成26年度から施行されたもの。平成27年度において、平成26年度の決算が終了するので、全体の1年の流れが終わる決算を含めた形で、平成27年度当初予算に計上した。



市政に対する

一般質問

今定例会では、12人の議員が2月24日、25日、26日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- 地方創生戦略の推進について
- 介護を受けていない元気な90歳以上の幸手市民について

松本章議員

- 空き家対策について
- 駅橋上化・西口区画整理事業について
- デマンド交通について

松田雅代議員

- 子育て支援制度の充実について
- 新年度の教育施策の強化について
- 幸手市民の65歳健康寿命の向上について
- 幸手市協働のまちづくりへの取り組みについて

宮杉勝男議員

- 災害対策の進捗状況について
- 青少年育成団体について
- 財政健全化計画終了後の各補助金等について
- 市長の議会での対応について

本田謡子議員

- 幸手市地域防災計画について
- 幸手市地域防災計画における災害ボランティアの内容と体制について
- これからの教育について

小林順一議員

- 公共施設(建物)に対する非構造部耐震化について
- 若年層の定住化について

中村孝子議員

- 橋上駅舎整備事業について
- 駅西口地区土地区画整理事業について
- 公民館について

小河原浩和議員

- 学力向上の総合的な取り組みについて
- 県道惣新田幸手線バイパスについて

小島和夫議員

- 人口問題について
- 災害対策について

藤沼貢議員

- 幸手駅舎の橋上化について
- 今後の観光事業について

木村治夫議員

- 地域防災力の向上に向けての自主防災組織整備について
- 埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」について
- 平成27年度予算編成の視点について

小林英雄議員

- 交通戦略について

- それぞれの内容の詳細は会議録及び市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 3月定例会の会議録は6月上旬頃公開予定です。

6月定例会のお知らせ

6月1日開会予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.city.satte.lg.jp>

3月定例会

傍聴者			
24の方が傍聴されました。			
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継 (ライブ及び録画)を行っております。			
1月	219件	2月	1534件
3月	969件	の方が視聴されました。	

幸手市の地方創生戦略の推進は



小林啓子議員

Q 幸手市として「まち・ひと・しごと」を創生する戦略を立てるための人材確保について、どのように考えているのか市長に伺う。

結婚・出産・子育て・教育の環境整備の現状と今後について伺う。

A 幸手市では、国が相談窓口を設け市町村を支援する「地方創生コンシェルジュ制度」を積極的に活用していく。

地方創生に直接結びつく結婚・出産に関する事業は実施していないが、「さっちゃん子育て応援事業」の総称のもとで、現在、各種事業を展開している。今後は、国の地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用しながら、不妊治療助成、放課後児童クラブ室の開設準備、さ

ってアフタースクール等を実施し、さらに必要な施策を検討していく。
(市長・総務部長)



市の空き家の現状は



松本章議員

Q 全国的に空き家は増加傾向にある。市では2年前に実態調査をしたが、市の空き家の現状について伺う。

また、本年元旦、県内で空き家への不審火があった。市の空き家への防犯対策について伺う。また、国会では空き家に対する税制改正が行われると聞くがこれからどうなっていくか伺う。

最後に、平成25年2月4日に市長に対し地域住民と共に陳情書を提出し、管理不全の空き家の対応を求めたが、今後の対応を伺う。

A 区長会での調査および市民からの情報を併せ、302件の空き家を把握しており、このうち管理不全な空き家は26件である。

防犯対策については、今後自主防犯団体の協力を得ていき

いと考えている。また、空き家に対する税制措置については、国の方針を見ながら対応していきたいと考えている。



中1丁目の空き家に関する陳情に対しては、市の空き家条例に基づき、管理不全の是正に努めていきたいと考えている。

(市長・市民生活部長・総務部長)

「子育て世代」に選ばれるまちづくり推進を



松田雅代議員

Q

4月から国の「子ども・子育て新制度」が施行される。新制度では0歳から2歳児の待機児童の保育量（定員）拡大に期待が寄せられる中、幸手市では定員が増えていない。昨今の女性の働き方の変化や保育ニーズに応え、働くママたちの職場復帰を支える魅力ある保育環境づくりを推進していくべきでは。

A

現在、第2保育所の移転に向け、基本設計を行っているが、その中において、より保育ニーズの高い低年齢児の定員拡大について検討を行っている。



また、民間の認可保育所や小規模保育事業などの設置をより積極的に推進することで、子育て環境の充実に努めていきたいと考えている。

乳児紙おむつ用ごみ袋支給事業についても、継続的に実施し、子育て世代の経済的負担の軽減を図っていきたいと考えている。

（健康福祉部長）

災害対策の進捗状況は



宮杉勝男議員

Q

以前、災害対策について一般質問時に答弁をしたことについての進捗状況を伺う。

一、3階建て以上の民間ビルとの協定について。

二、私立の保育園および幼稚園の洪水に対しての対策や訓練方法について。

三、前部長達が約束したことに対し「できるよう努力する」

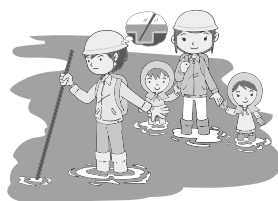
A

と答弁したことについて。

また、幸手市地域防災計画は何を基にどのような方法で作成したか伺う。

一、幸手団地および東1丁目スカイハイツで協力を頂けることになり、今後も機会を捉え他の施設にもお願いして行く。

二、私立保育園は定期的に訓練を実施している。私立幼稚園は訓練を実施していないが、消



防訓練と併せて洪水に対する訓練もお願ひした。

三、要援護者支援は幸手市地域防災計画に位置づけた。消防団員の訓練、避難所案内看板の設置、ハザードマップの更新は来年度実施予定である。

また、幸手市地域防災計画は国や埼玉県防災計画を基に改訂した。

（市民生活部長）

携帯やスマホから子どもを守る施策は



本田謡子議員

Q

昨年12月議会において子どもの環境整備として、携帯電話やスマートフォンの使用について現状や問題点を質問し、使用時間の制限を条例にと要望した。「より一層の啓発を」との答弁に対しての進捗状況を伺う。

A

教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となり、スマホや携帯の使い方のルールを作成することを目的として、「幸手市スマホ・携帯、インターネット使用のルール作成委員会」を立ち上げた。

委員の構成は、小・中学校の校長の代表者、各学校の生徒指導主任の代表者、PTAの代表者、青少年育成推進員の代表者、市内中学校生徒代表者の15人である。

今後は、作成したルールをリーフレットとしてまとめ、それらを児童生徒や保護者に配布すること、啓発を行っていく。

(教育長)



公共建物に対する非構造部耐震化は



小林順一議員

Q

公共施設、とりわけ学校施設は児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害の時は地域住民の応急避難場所となるため最優先で耐震化を進めるべきと考える。

小中学校の校舎、体育館の構造部の耐震化は完了しているが校舎、他の公共建物に関して非構造部耐震化は確認されていない

A

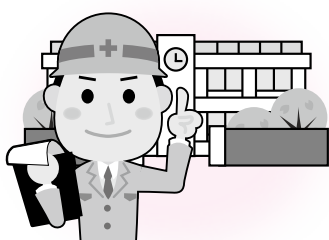
非構造部の耐震化の現状を伺う。国、県からの非構造部耐震化実施の補助率を伺う。

今後の非構造部耐震化の推進計画を伺う。

非構造部の耐震化の現状として、保健福祉総合センター、北公民館、南公民館、市民文化体育館が該当する。補助率は、小中学校については対象経費の3分の1となっているが、その他の公共施設について

は、明確になっていないため、個々に検証していく必要がある。今後の推進計画については、平成27年度より、公共施設総合管理計画の作成に着手していくなかで整理していくとともに、小中学校については、技術系職員を活用した点検を早急に進めて行きたい。

(総務部長)



公民館の適正な運営を



中村孝子議員

Q 幸手市には生涯学習拠点として、東西南北中央の公民館が設置されている。しかし、施設の老朽化や職員の無配置等、利用者の不満も耳にする。現在は貸館化しており、公民館の役割が希薄になっており、公民館のことで問題点は何か、公民館の本来的適正な運用をどのように考えているか伺う。

A 公民館の問題点は利用者が減少傾向にあること、施設・設備等の老朽化、そして職員が中央公民館以外に配属されていないため、施設の状況把握に時間を要したり、利用者の要望に迅速に対応できないことである。

公民館活動の活性化を図るためには、公民館ごとに学習プログラムを企画・実践することが大切であり、問題点の改善を図るためにも、各公民館への職員

の配属は効果的と思われるので、市長部局で進めている検討の結果も踏まえ、今後考えていきたい。

(教育次長)



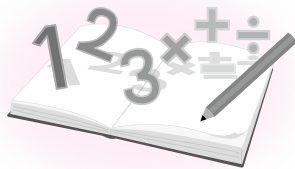
幸手市北公民館

学力向上の総合的な取り組みは



小河原浩和議員

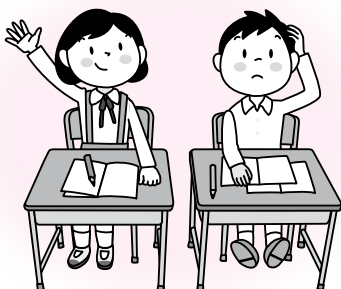
Q 児童・生徒の学力向上の問題は、幸手市にとって大きな課題である。総合的な取り組みが必要だと思うが、教育委員会として、現在の状況や今後の方策について伺う。



A 各学校では、日常の授業の評価や全国学力・学習状況調査の結果を真摯に受け止めて、学校ごとに課題解決プランを作成し、評価と改善に基づいた取組をおこなっている。教育委員会では、家庭学習用の「さくらっ子ノート」の全児童への配布、市学力向上推進協議会の開催等を実施してきた。今後は、PTAと連携した児童・生徒の家庭学習の支援や、放課後を活用した「さってアフタースクー

ル事業」の実施により、児童の学習を支援する積極的な施策の実施に努めていく。

(教育長・教育次長)





藤沼貢議員

今後の観光事業の充実は

Q 権現堂桜堤および権現堂公園周辺に観光用臨時駅の設置を東武鉄道へ要望することと、合せて、利根川の水を利用したうなぎ陸上養殖を事業化し、幸手産こしひかりをベースとした食の商品化をしたらいかがか伺う。



A 桜まつりには、車での来場者が多く、渋滞により観光客や周辺地域の方にご迷惑をおかけしている。このため、臨時駅の設置は、利便性と混雑解消には有効な手段と考える。しかし、まずは現在進行中の幸手駅舎橋上化事業を優先的に実施し、並行して東武鉄道との協議を図りたい。

次に幸手産こしひかりを活用した食の商品化は観光事業としても必要と考えている。ご提案



いただいた、うなぎの活用なども含め、様々なご意見を伺いながら、観光と食について検討したい。
(市長・建設経済部長)



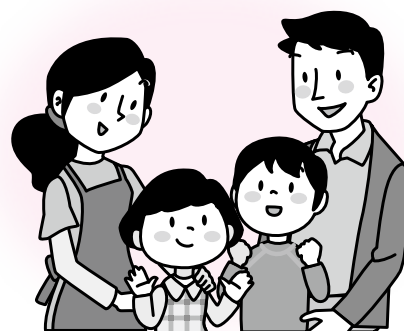
小島和夫議員

人口減少問題・定住化どう進めるか

Q 国は自治体向けの交付金を創設したが、市は交付金を使いどのような政策を考えているのか。また幸手市に定住化させるためにはどのような政策を考えているのか合わせて伺う。

A 幸手市では、国の交付金を使い、地域における消費喚起・生活支援策として、プ

(副市長・総務部長)



平成27年度予算編成の視点は



木村治夫議員

Q

地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策が国より市へ示された。少子高齢化による人口構造の変化に伴う自治体間競争への対応、課題は多岐にわたる。

本市においては、市税前年度比1.2%の減少と増収の兆しは見えない。(1)歳入確保の重点施策について伺う。(2)歳出抑制の具

A

(1)については、産業団地整備事業、駅橋上化および自由通路整備事業、子育て応援日本一をめざした事業などを確実に実行、自治体間競争時代の到来を意識した就労人口確保策に積極的に取り組んでいる。(2)については、財政健全化期間中に得られた、「節約の精神」

を最大限発揮するとともに、財政規模に限界があることを認識し一定の抑止力を持ち事業のあり方、実施方法の見直しをしている。

(3)については、応能と応益のバランスを踏まえ、慎重に検討していく。

(総務部長・市民生活部長)

市内交通網の整備・利便性の向上対策は



小林英雄議員

Q

圏央道ICの開通・産業団地の整備・新駅舎・西口区画整理・上高野土地区画整理など幸手市の発展にとってすばらしい事業が進んでいる。今はひとつひとつが点になっていると思うが、これらの事業ができた時すべてが線で結ばれるような交通網の整備・対策が必要であると考ええる。そこで幸手市内

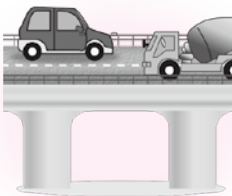
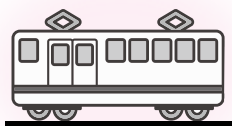
A

幸手市の交通網整備については、東武鉄道に対し、発着本数の増加や快速電車の発着を要望している。また、バスやタクシーについては、利用者が減少し、経営が厳しい状況にある。幸手市は多くの市民が自家用車を交通手段としている地域性ではあるが、高齢化に伴い、公共交通に対する意識も変化する

全体の交通網の整備・対策について伺う。

る可能性もある。本来、民間事業者により公共交通網が整備されるのが理想であり、市としては、これらを補完する交通手段を提供しながら、民間事業者と研究してまいりたい。

(市民生活部長)



議会運営委員会で先進地を視察研修

平成27年 1月21日(水)・22日(木)
議会改革の取り組み【議会報告会について】
・神奈川県横須賀市 ・神奈川県厚木市

■横須賀市

横須賀市では、議会基本条例に基づき、平成23年5月に「横須賀市議会報告会及び市民との懇談会実施要領」を定めています。委員からは、「参加者数の伸び悩みや固定化に対する対応」、「想定している懇談会の内容」、「市政報告会の開催」、「広報編集委員会との関係」、「市民の満足度」、「保留した回答の議会対応」等についての質疑と活発な意見交換が行われました。



■厚木市

厚木市では自治基本条例の趣旨に基づき、平成24年4月1日に「厚木市議会報告会実施要綱」を定めています。委員からは、「議会報告会の予算」、「班編成の見直しの背景」、「議会基本条例化の動向」、「会場の選定」、「参加者減少に対する対応」、「議会報告会までの準備期間」、「報告内容の見直し」等についての質疑と活発な意見交換が行われました。



今後これらを精査、研究し、平成27年4月1日に施行した幸手市議会基本条例の趣旨を踏まえ、有益な市民との意見交換の場となる議会報告会ができるよう取り組んでいきます。

3月定例会 会期日程

2月23日（本会議）

・開会・会期の決定・報告事項

・市長提出議案一括上程、提案理由説明

2月24日・25日・26日（本会議）

・市政に対する一般質問

3月4日（本会議）

・議案に対する質疑・議案の委員会付託

3月5日・6日（委員会）

・文教厚生常任委員会

3月9日（委員会）

・総務常任委員会

3月11日（委員会）

・建設経済常任委員会

3月20日（本会議）

・委員長報告、質疑、討論、採決・閉会

議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

平成27年3月定例会 提出された議案の結果

(市長提出議案) 先進…先 公明党…公 改革…改 新政会…新 自民党…自 明政…明 民主党…民 社民党…社 無所属…無 (○:賛成 ×:反対 退:退席)

議案番号	議席番号・議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	付託 委員会	本会議 議決結果
		松田 雅代(先)	小林 啓子(公)	本田 謡子(改)	小河 原浩(改)	小林 英雄(新)	木村 治夫(自)	宮杉 勝男(新)	松本 章(新)	中村 孝子(先)	小林 順一(公)	藤沼 貢明(民)	手島 幸成(民)	小島 和夫(明)	武藤 壽男(無)	大久保 忠三(社)		
議案第1号	幸手市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第2号	幸手市行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第3号	幸手市情報公開条例及び幸手市個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第4号	幸手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	文教厚生	賛成多数可決
議案第5号	幸手市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第6号	幸手市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第7号	幸手市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第8号	幸手市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第9号	幸手市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第10号	保育の実施に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第11号	幸手市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第12号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第13号	教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第14号	幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第15号	幸手市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第16号	平成26年度幸手市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第17号	平成26年度幸手市一般会計補正予算(第7号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数可決
議案第18号	平成26年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第19号	平成26年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第20号	平成26年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第21号	平成27年度幸手市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第22号	平成27年度幸手市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第23号	平成27年度幸手市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第24号	平成27年度幸手市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第25号	平成27年度幸手市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第26号	平成27年度幸手市公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第27号	平成27年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第28号	平成27年度幸手市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第29号	平成27年度幸手市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生	賛成全員可決
議案第30号	教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第31号	公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第32号	公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第33号	公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第34号	東武日光線幸手駅自由通路整備工事の施行に関する協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第35号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決

(議員提出議案)

会議案第1号	幸手市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
意見書案第1号	ヘイトスピーチ対策に係る法整備を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決

議会広報編集委員

委員長 武藤 壽男
副委員長 手島 幸成
委員 大久保 忠三
委員 小河原 浩和
委員 木村 治夫
委員 小島 和夫
委員 小林 順一
委員 松田 雅代
委員 松本 章

編集後記

今年も権現堂の桜、みごとな花を咲かせてくれました。訪れていただいたお客様には、大変道路が混雑してご迷惑をおかけしたようです。3月29日に圏央道幸手ICが開通し、これからは圏央道を利用してのご来場が望まれるところです。また今年は新しいトイレが設置され、訪れた方からは満開の桜と共に新しく建設されたトイレを見て満足されておりました。ある時に権現堂の桜のシーズンに臨時の駅をとの声を聞きました。もし権現堂桜堤に臨時駅が実現したら夢のようですね。